

研修名	新任者のための精神保健福祉基礎研修Ⅱ 「精神障害者を地域で支えるケアマネジメントとは」
講師	一般社団法人 Q-ACT Q-ACT 北九州 ケースマネージャー 佐藤 みずほ 氏（精神保健福祉士、保健師、看護師）
開催日時	令和元年9月6日（金）13:30 ～ 17:00
開催場所	総合保健福祉センター（アシスト21）2階 講堂
参加者数	40人（相談支援専門員、生活支援員、指導員、保健師、精神保健福祉士など）
研修の内容等	<p>精神保健福祉業務に関わる行政機関及び精神保健福祉関係機関の新任者を対象に、精神障害者の地域における生活を支援する方法を習得することを目的として研修を実施した。</p> <p>研修では、ケアマネジメントとは、アセスメント、フォーマルな資源とインフォーマルな資源、本人に必要な支援や本人の強みを活かした支援について、講義とグループワーク（事例検討）で学んだ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"></div>
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"><li>グループワークでは多職種の方がいたので、新しい視点や知識が得られた。</li><li>危機介入ではなく、長期的な部分で支援する方法が学べた。</li><li>今後の業務を行うにあたっての心構えや、サービス、プランの知識が増えた。</li><li>保健福祉や医療、就労支援等、各専門分野について知ることができた。今後のケースで色々な方と関わり、協力していきたい。</li><li>グループワークを通じて、支援するにあたってチームで連携することの意義を感じた。</li><li>相談しやすい支援者同士の繋がりを大切にしたいと思った。 など</li></ul>